

とんぐり村の こみ・すく通信

令和2年6月3日発行 **第3号**

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第1回更別小学校 学校運営協議会が開催される

新型コロナウイルスの影響を受け、久しぶりの会議、そして第1回の学校運営協議会が5月28日に開催されました。

栗原校長から今年度の学校運営に関する基本的な方針が説明され、承認されました。

地域の教育力を活かす学校、一人一人の居場所になる温もりのある学校づくりを推進します



また、学校運営協議会の年間活動計画やこれまで学校でおこなってきた地域と連携した学習活動の確認、さらには協議会への学校からの要望、それにかかわっての協議、交流がされました。今年度は新型コロナウイルスの関係で、運動会や学習発表会の開催期日等が変更になります。さらには、地域の方々にご支援いただく教育活動を是非進めていきたいが、予定通りできるか心配であるという話もありました。

	委員氏名 (敬称略)	推薦理由
会長	木村 貴史	更別小学校PTA役員
副会長	道見 知也	更別小学校PTA役員
委員	濱口千恵子	更別小学校PTA役員
	川村 茜	更別幼稚園保護者代表
	山角 竹志	とんぐり保育園保護者代表
	林 みゆき	おひさまの会代表
	森 年史	JAさらべつ青年部代表
	本多 恵	地域住民代表
	絹川 稚葉	更別小学校教諭
	栗原 賢次	更別小学校校長

☆会長の木村さん、栗原校長先生が、コミュニティ・スクール委員会メンバーとなります。

4月に行うはずだった「目指す子どもの姿」についても熟議

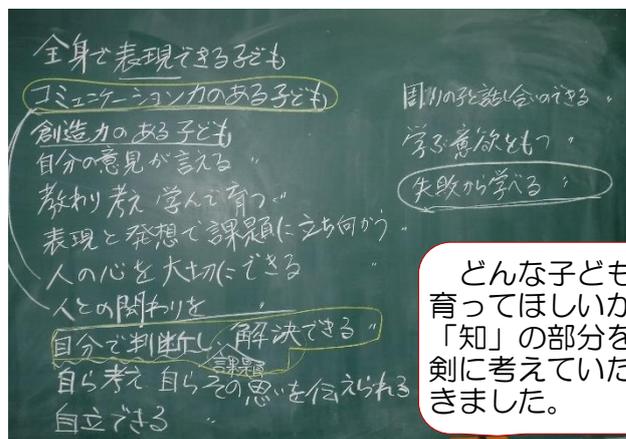
本来であれば、3校の学校運営協議会、CS委員会メンバーが一堂に会し、グループ協議の中で進めていくはずでした。しかし、感染防止のため、各学校の運営協議会ごとに分担して「目指す子どもの姿」を熟議することにしました。



【距離を置きながら熟議】

更小運営協議会は「知」の部分について協議しました。行政区長、保護者、教職員のアンケート結果を参考にしながら各自シートに書き込み、2人で話し合いをし、その後全体で交流しました。

以下のような「知」についての目指す姿が出され、おおまかに3点にまとめられました。



どんな子どもに育ってほしいか、「知」の部分を実剣に考えていただきました。

- ・自ら考え判断し、課題解決できる子ども
- ・コミュニケーション力のある子ども
- ・失敗から学べる子ども

この目指す姿は、最終的にはCS委員会決定されていきます。他の「心」「体」「郷土愛」とのかかわりで、変更されることもあります。